



誰もが労働時間に敏感になりがちな昨今 資格取得の“勉強”までもが労働時間？

◇◆◇ 慣習に頼る経営からの脱皮が急務 ◇◆◇

◆本レポートの内容◆

- | | |
|--------------------------|-------|
| 【1】従来の“当たり前”が次々崩れる現代労働事情 | …… 1頁 |
| 【2】上司の“助言”が業務命令だとされてしまう？ | …… 2頁 |
| 【3】暗黙の自己研鑽推奨が難しくなった現代的事情 | …… 3頁 |
| 【4】会社の意図や目的を明確にした教育指導が必須 | …… 4頁 |
| 【5】本格化する働き方改革の中で外せない基本認識 | …… 5頁 |

業務に役立つ技能を、たとえば“自宅”で身に付けるというのは、つい最近まで“当たり前”の感覚だったかも知れません。技能を身に付けて、評価されれば、個々の従業員にも“満足”があったからです。

しかし今は、従業員の“自宅学習”までも“労働時間”なのではないかと指摘される環境にあります。それは、単に法律や判例上の問題ではなく、業務の進め方に内在する“現代的特徴”なのかも知れません。では、その“特徴”とは、どのようなもので、どう対処すべきなのでしょう。



JPC 労務管理センター jinjiken 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : info@jinjiken.co.jp

- JPC 労務管理センター TEL : 052-331-0844 FAX : 052-321-1108
- jinjiken 人事労務管理研究所 TEL : 052-331-0845 FAX : 052-321-1125

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。